

NEWS RELEASE

〒163-0456 東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビル



2015年12月9日

アフラック（アメリカンファミリー生命保険会社）

本社機能の一部を札幌市に設置

アフラック（アメリカンファミリー生命保険会社、日本における代表者・社長：山内 裕司）は、大規模災害リスクに備えた事業継続体制のさらなる強化を図るため、日本における本社機能の一部を2016年4月に北海道札幌市に移転します。

移転する本社機能は、ITシステム開発機能です。現在、東京都府中市にある同機能の一部を北海道札幌市に移転し、「札幌システム開発オフィス」（仮称）として開設します。これにより、システム開発部門の二拠点化が実現します。なお、札幌システム開発オフィスでは、段階的に人員の異動・拡充（現地採用）を行う予定です。

当社はこうした事業拠点の分散と重要業務の移転により生命保険事業の継続性を強化し、大規模災害の発生などいかなる状況においても、お客様へのサービスを継続的に提供できる体制を構築していきます。

今回の発表にあたり、北海道知事・高橋はるみ氏、札幌市長・秋元克広氏からコメントをいただいています。

<高橋知事のコメント>

「アフラック様が、事業の継続性を強化するため、リスク分散の適地である北海道の強みを理解していただき、本社機能の一部を札幌市に移転することを決定されたことは、誠に喜ばしいことであり、山内社長様をはじめ、関係者の皆様へ深く感謝申し上げますとともに、心より歓迎申し上げます。」

<秋元市長のコメント>

「『札幌システム開発オフィス』の設立をご決定されましたことに、深く感謝を申し上げますとともに、札幌市を代表して心から歓迎いたします。世界が憧れる街を目指す札幌市にとって、グローバル企業であるアフラック様が、札幌を活動の舞台としてお選びいただいたことは大変誇らしく思います。」

また、アフラック 日本における代表者・社長の山内裕司は、以下のようにコメントしています。

「札幌市は、自然災害によるリスクの低さや人材の豊富さなどの点で、IT部門の業務分散拠点として最適であり、自治体をはじめ関係者の皆様から大変熱心なご誘致をいただいたことなどにより、移転を決定いたしました。また、優秀な若手人材が多いという点もたいへん魅力的であり、北海道での採用を積極的に進めてまいります。」